



行政相談委員で総務大臣賞を受賞
志田 洋遠さん・65歳
苗ヶ島町

共感しながら話し合うのが大切

多年にわたり行政相談委員を務めたその業績が認められ、先月15日に総務大臣表彰を受けた。

「ささやかでも、市民のためになつて、喜んでくれる人がいればと思っています。相談者の笑顔を見るのが大好きなんです」

平成3年から9期17年、行政相談委員として活躍している。

「行政相談の制度を知らない人が多いんです。何を相談したらよいのか分からないのでしょね。何でも一人で悩まず、まずは気軽に相談に来てほしい。行政相談委員は市民の味方と知っているんです。もつとこの制度を知ってもらいたいと思いませんね」

本業は金剛寺の住職。その傍ら保護司や青少年心の相談室を行い、また、4年前からインターネットを使ったメール相談室も立ち上げている。

「もともと、寺の仕事はいろいろな相談を受ける場所と思っています。一緒に泣いたり、笑ったり、怒ったり、お互いに共感しながら話し合うのが大切だと思います」

今は目まぐるしい時代。道路や境界の問題などの相談はもろろん、リストラされた人や生きる自信を失った人などさまざまな相談を引き受け、多忙な毎日だ。

「子ども会やスポーツ少年団たちが、心を鍛えるために本堂を使って、座禅教室なども行っているんです。物を大切にすることや命の大切さを教えています」

これからも、温かい心でみんなに光を与え続けてほしい。

美しい音色に酔いしれて

10月25日・26日の2日間、「マンドリンのまち前橋・朔太郎音楽祭2008」を開催しました。市内8会場でのミニコンサートや市民文化会館でのオーケストラの演奏、マンドリン四重奏コンクールなど、美しい音色に訪れた市民は酔いしれていました。



バラの香りに包まれる

秋の開花時期に合わせ、10月18日から11月9日まで敷島公園ばら園で秋のバラフェスタを開催。600種7,000本のバラの甘い香りと鮮やかな色に包まれて、切りバラの配布や鉢物オークションなどの多彩な催しが。園内は多くの人でにぎわいました。

鈴木さんへ朔太郎賞

11月1日、前橋文学館で第16回萩原朔太郎賞贈呈式が行われました。受賞者の鈴木志郎康さんへブロンズ像などを授与。鈴木さんは「うれしい。これからも詩を書き続けていきたい」と喜びを語りました。



処理の仕組みが分かったよ

馬場町の集落排水処理施設で11月1日、農業集落排水まつりが開かれました。施設見学や模擬店、ザリガニ釣り、ソーラーカーなど催しが盛りだくさん。訪れた人たちは、排水処理について楽しみながら理解を深めていました。



若い芽のポエム

昨年度行われた第11回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

◆入選 だんごむし

桃井小1年 中澤 柚葵さん

だんごむしとあそんだよ
さわつたら
クルクルとまるくなったよ
びつくりするとまるくなるんだよ
まるくないときは
わらじむしにしているよ
でも
わらじむしはまるくならない
わらじむしは
びつくりしないのかな？

なかには家族を失った人だって
いる
その人のほうが
よっぽどつらい・・・
地震なんて
なければいいのに

◆入選 感謝

元総社南小6年 馬 黎さん

母から、
生命をもらう。
先生から、
知識をもらう。
友だちから、
友情をもらう。

◆入選 臨海学校

桃瀬小5年 大島 美優さん

私たち、今年の五年生は
臨海学校に行けなかった
地震があったから・・・
みんな楽しみにしていた
でも、しかたない
地震があった近くの人は
もつと、もつと、つらい
家にすめなくなつてしまつたり、

ありがとう、
笑顔をもらう。
もらう、もらう、
みんなからいろいろなものをもら
う。
感謝